



JR東労組 八王子地本

# FAX HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

本部派遣代表 佐藤英樹

2020/5/25 No.35

## 立川運転区分会が中央本部と意見交換！

第 1 号

2020年5月23日

発行責任者/岡部廣

### JR 東労組立川運転区分会

## 立転情報

### 岡部分会長 本部山口委員長と意見交換！

5月22日岡部分会長、菅原副分会長、中里3名は本部にて山口中央執行委員長、加藤書記長、佐藤中執と話し合いをしました。

18春闘以降、「八王子地本は本部により排除されてきた」と喧伝され、「不当労働行為と闘わない本部は組合員に寄り添わない」とまで言われてきました。2年におよぶ対立の中で、隠されてきた真相が明らかになりました。

### これまでの本部に対する強い不信感を訴える

私たちからこの2年間に及ぶ本部に対する不信感を訴えてきました。「多くの組合員が脱退していく中、次々に発せられる制裁請求、組合基金の切り崩し、規約の改変など、「今やる事なのか」という思いが強く、非常に辛い2年間だった。」とこれまでの思いを強く訴えました。

また、「八王子を守る会」に対しても、どれだけ組合員と向き合ってきたと思っているのかという思いから「何を今更守る会だ」という疑念があった事も訴え、当初は新労組に加入する決意をしていた。

しかし、残っている約100名組合員を放っておけない事。またJR東労組の財産を不正に扱っていた疑いがある事を知り、新労組の役員はそれに対して何ら見解を示さないことから「この質は一体何だ」という強い不信が生まれた。おかしい事をおかしいと言えない質が「大敗北」総括の本質なのではないかと感じ始めJR東労組に残ることを決めた。組合員の為にも本部への不信感を払拭していきたいと訴えました。

山口委員長からは不信を感じさせてしまった事への謝罪のうえ、18春闘の最中、本部内及び八王子地本との間で起きていた対立の真相が以下のように語られました。

## 中央本部からこの間の謝罪と 18 春闘の真実語られる！